

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【公表番号】特表2014-533734(P2014-533734A)

【公表日】平成26年12月15日(2014.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2014-069

【出願番号】特願2014-543732(P2014-543732)

【国際特許分類】

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 K 31/4985 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 33/10 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 487/04 1 4 0

C 0 7 D 487/04 C S P

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/4985

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 33/10

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月27日(2015.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

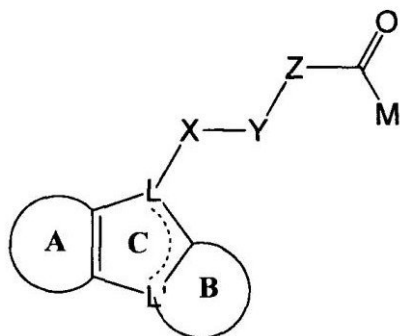
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I の化合物、またはその薬学的に許容される塩。

## 【化 1】



式 I

(ただし、

LとL'は、窒素原子または炭素原子から選ばれ、条件は、LとL'が異なる原子であることである。

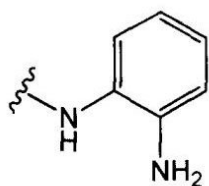
Xは、O、S、CH<sub>2</sub>、C(O)、または結合で、条件は、Lが窒素原子の場合、Xは、OとSではないことである。

Yは、結合、無置換または置換の複素アリール基、またはアリール基である。

Zは、結合、またはC<sub>1-8</sub>アルキレン基、NR<sup>a</sup>、C(O)C<sub>1-8</sub>アルキレン基、C<sub>1-8</sub>アルキレン基NR<sup>a</sup>、C<sub>1-6</sub>アルキレンアリーレンC<sub>1-6</sub>アルキレン基、C<sub>2-8</sub>アルケニレン基、C<sub>1-6</sub>アルキレンアリーレン基、C<sub>1-6</sub>アルキレンヘテロアリーレン基、C<sub>2-6</sub>アルケニレンアリーレンC<sub>1-6</sub>アルキレン基からなる群から選ばれる。上述のいずれか一つの基は、無置換で、または一つか複数個のR<sup>a</sup>で置換されている。

Mは、-NHOH、CH<sub>2</sub>SH、CH<sub>2</sub>SC(O)C<sub>1-8</sub>アルキル基、CH<sub>2</sub>SC(O)アリール基、CH<sub>2</sub>SC(O)ヘテロアリール基、CH<sub>2</sub>SC(O)C<sub>1-8</sub>アルキレンアリーール基、CH<sub>2</sub>SC(O)C<sub>1-8</sub>アルキレン基ヘテロアリーール基、または

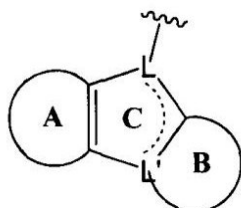
## 【化 2】



から選ばれる。

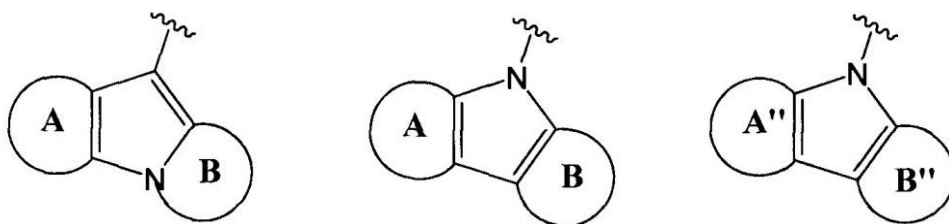
ここで、

## 【化 3】



は、

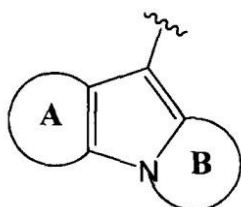
## 【化 4】



から選ばれる複素環部分である。

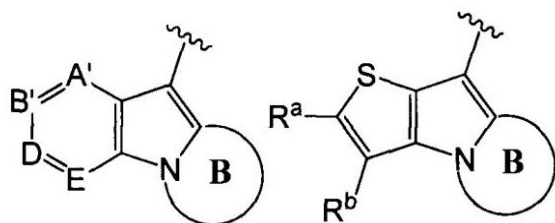
ここで、

## 【化 5】



は、

## 【化 6】

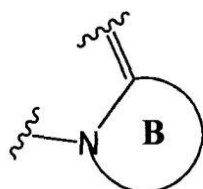


から選ばれる複素環部分である。

ここで、A'、B'、D及びEは、それぞれ独立にNまたはC(R<sup>a</sup>)から選ばれる。

ここで、

## 【化 7】

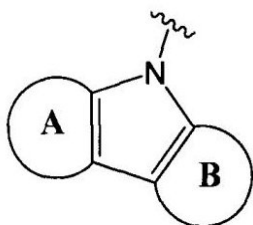


において、B環は、5～7員炭素環、または一つまたは複数個の炭素原子がC(O)、O、S、N R<sup>c</sup>で置換された5～7員炭素環である。ここで、R<sup>c</sup>は、水素、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルキル基、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>シクロアルキル基、SO<sub>2</sub>R<sup>c</sup>、C(O)R<sup>c</sup>から選ばれる。

ここで、R<sup>c</sup>は、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルキル基、C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>シクロアルキル基、アリール基、複素環基、ヘテロアリール基で、条件は、B環にN-O結合とN-S結合が存在しないことである。

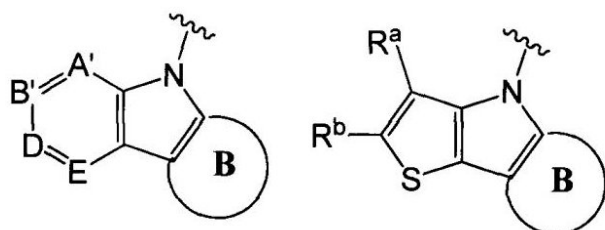
ここで、

## 【化 8】



は、

## 【化 9】

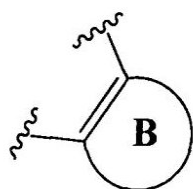


から選ばれる複素環部分である。

ここで、 $A'$ 、 $B'$ 、 $D$ 及び $E$ は、それぞれ独立に $N$ または $C(R^a)$ から選ばれ、条件は、 $A'$ 、 $B'$ 、 $C$ 及び $D$ のうち少なくとも一つが $N$ である。

ここで、

## 【化 10】

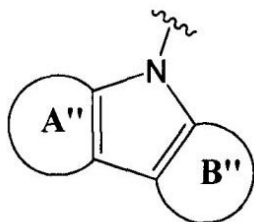


において、 $B$ 環は、5～7員炭素環、または一つまたは複数個の炭素原子が $C(O)$ 、 $O$ 、 $S$ 、 $N$ 、 $R^c$ で置換された5～7員炭素環である。ここで、 $R^c$ は、水素、 $C_1$ - $C_6$ アルキル基、 $C_1$ - $C_6$ シクロアルキル基、アリール基、ヘテロアリール基、 $C_1$ - $C_6$ アルキレンアリール基、 $C_1$ - $C_6$ アルキレンヘテロアリール基、 $SO_2R^c$ 、 $C(O)R^c$ から選ばれる。

ここで、 $R^c$ は、 $C_1$ - $C_6$ アルキル基、 $C_1$ - $C_6$ シクロアルキル基、アリール基、複素環基、ヘテロアリール基、 $C_1$ - $C_6$ アルキレンアリール基、 $C_1$ - $C_6$ アルキレンヘテロアリール基である。

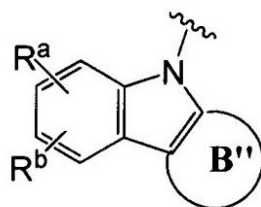
ここで、

## 【化 11】



は、

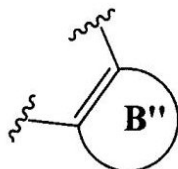
## 【化 1 2】



から選ばれる複素環部分である。

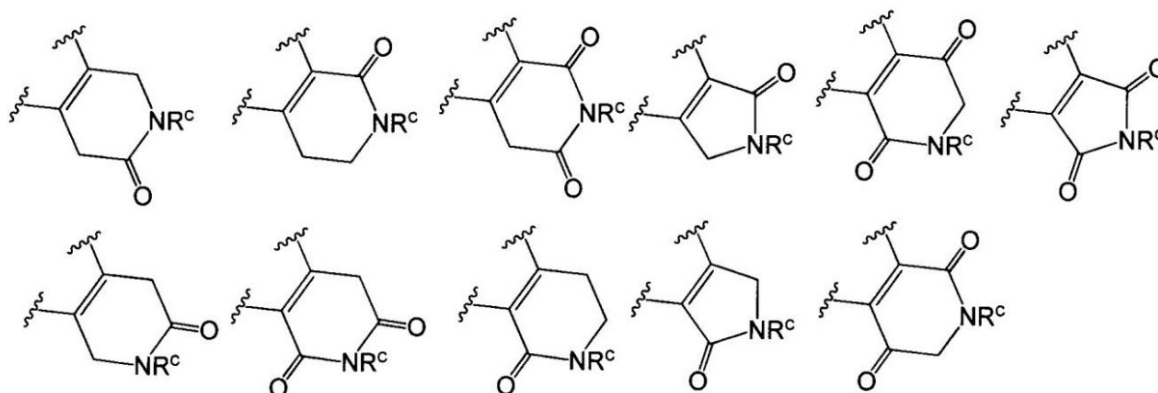
ここで、

## 【化 1 3】



は、

## 【化 1 4】



から選ばれる。

上述基は、任意に一つまたは複数個の $R^a$ と $R^b$ で置換されている。

$R^a$ と $R^b$ は、それぞれ独立に、水素、脂肪族、環式脂肪族、ヘテロ脂肪族、複素環基、芳香族、ヘテロ芳香族、アリール基、ヘテロアリール基、アルキルアリール基、ヘテロアルキルアリール基、アルキルヘテロアリール基、ヘテロアルキルヘテロアリール基、アルコキシ基、アリーロキシ基、ヘテロアルコキシ基、ヘテロアリーロキシ基、アルキルチオ基、アリールチオ基、ヘテロアルキルチオ基、ヘテロアリールチオ基、F、Cl、Br、I、-OH、-NO<sub>2</sub>、-CN、-CF<sub>3</sub>、-CH<sub>2</sub>CF<sub>3</sub>、-CHCl<sub>2</sub>、-CH<sub>2</sub>OH、-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、-CH<sub>2</sub>NH<sub>2</sub>、-CH<sub>2</sub>SO<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>、-C(O)R<sub>x</sub>、-CO<sub>2</sub>(R<sub>x</sub>)、-CON(R<sub>x</sub>)<sub>2</sub>、-OC(O)R<sub>x</sub>、-OCO<sub>2</sub>R<sub>x</sub>、-OCON(R<sub>x</sub>)<sub>2</sub>、-N(R<sub>x</sub>)<sub>2</sub>、-SF<sub>5</sub>、-S(O)R<sub>x</sub>、-S(O)<sub>2</sub>R<sub>x</sub>、-NR<sub>x</sub>(CO)R<sub>x</sub>から選ばれる。

ここで、各R<sub>x</sub>は、独立に脂肪族、環式脂肪族、ヘテロ脂肪族、複素環基、芳香族、ヘテロ芳香族、アリール基、ヘテロアリール基、アルキルアリール基、アルキルヘテロアリール基、ヘテロアルキルアリール基、またはヘテロアルキルヘテロアリール基を含む。ここで、前述脂肪族、環式脂肪族、ヘテロ脂肪族、複素環基、アルキルアリール基、またはアルキルヘテロアリール基の置換基のうちいずれか一つが置換か無置換で、分枝鎖か非分枝鎖で、飽和か不飽和で、且つ前述芳香族、ヘテロ芳香族、アリール基、ヘテロアリール基、-(アルキル)アリール基または-(アルキル)ヘテロアリール基の置換基のうちいずれか一つが置換か無置換である。

ここで、隣接の二つの $R^a$ 、または $R^a$ と $R^b$ は、5～7員の炭素環または5～7員の複素環を形成してもよく、その一つまたは二つの炭素原子が一つまたは二つのS、OまたはNR<sup>c</sup>で

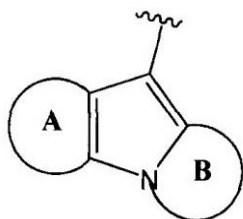
置換されている。)

【請求項 2】

Mは、-NHOHである、請求項 1 に記載の化合物。

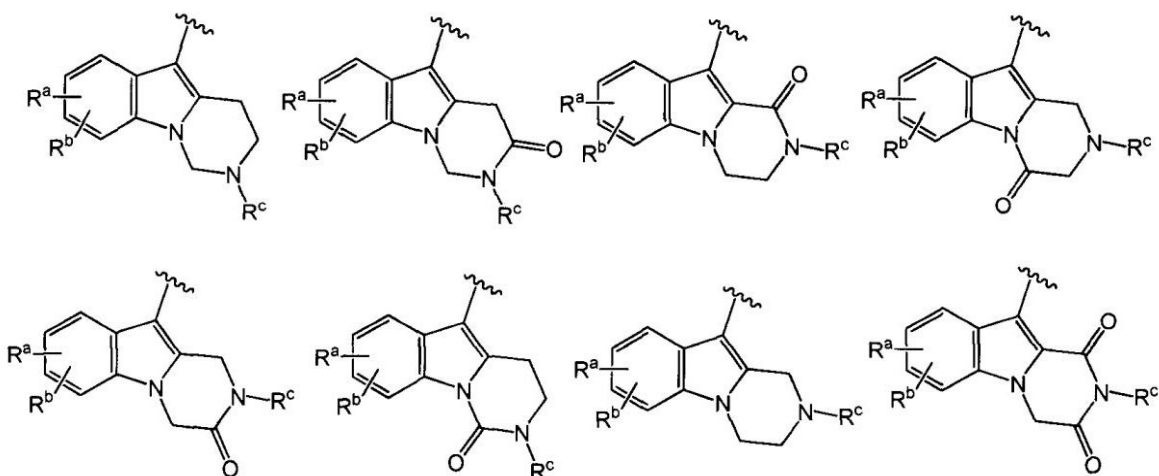
【請求項 3】

【化 1 5】



は、以下の複素環部分から選ばれる、請求項 2 に記載の化合物。

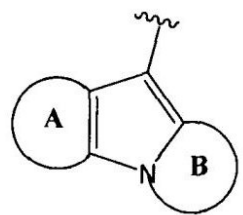
【化 1 6】



( $R^a$ 、 $R^b$  および  $R^c$  の定義は、請求項 1 の通りである。)

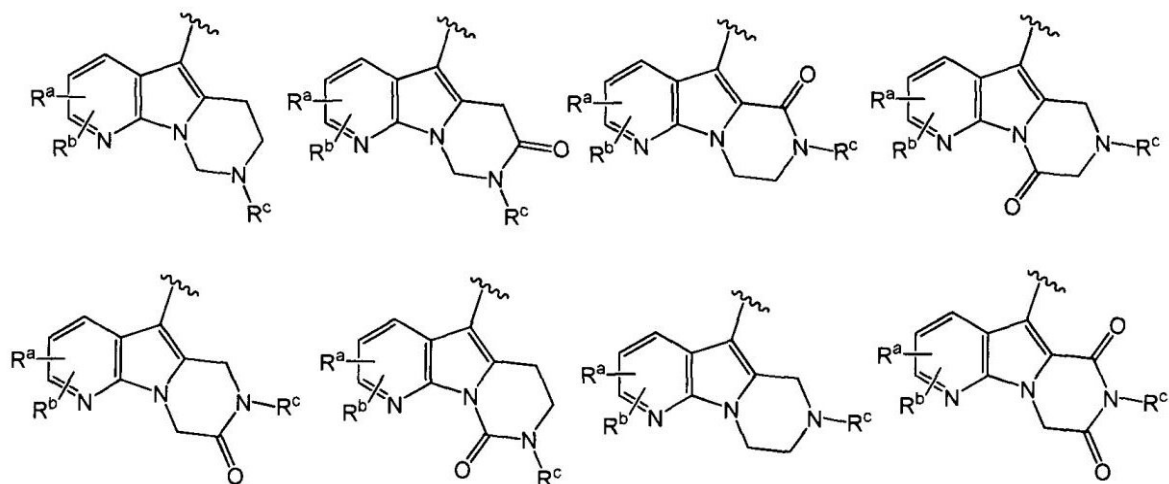
【請求項 4】

【化 1 7】



は、以下の複素環部分から選ばれる、請求項 2 に記載の化合物。

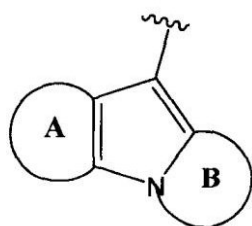
## 【化 18】



( $R^a$ 、 $R^b$  および  $R^c$  の定義は、請求項 1 の通りである。)

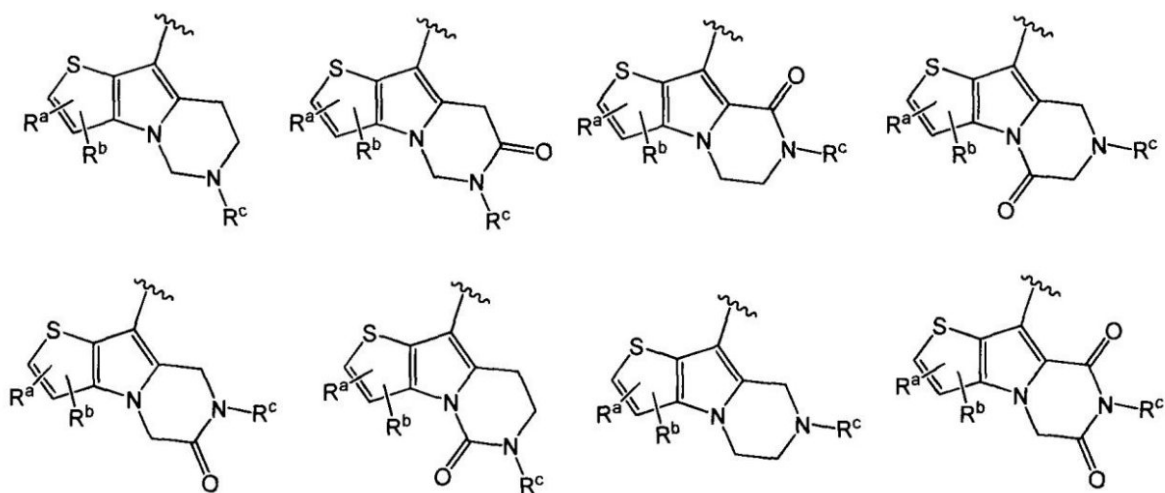
## 【請求項 5】

## 【化 19】



は、以下の複素環部分から選ばれる、請求項 2 に記載の化合物。

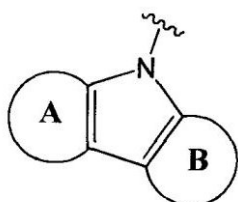
## 【化 20】



( $R^a$ 、 $R^b$  および  $R^c$  の定義は、請求項 1 の通りである。)

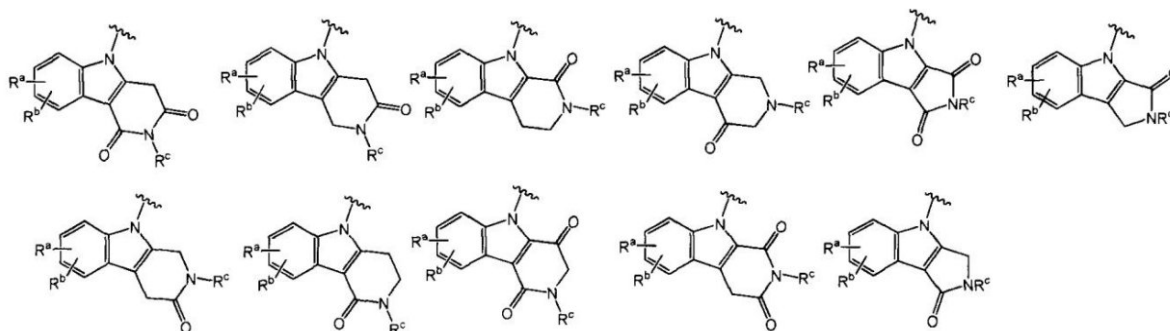
## 【請求項 6】

## 【化 21】



は、以下の複素環部分から選ばれる、請求項 1 に記載の化合物。

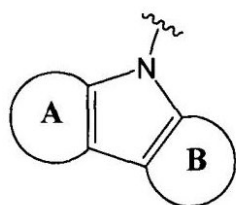
## 【化 2 2】



( $R^a$ 、 $R^b$  および  $R^c$  の定義は、請求項 1 の通りである。)

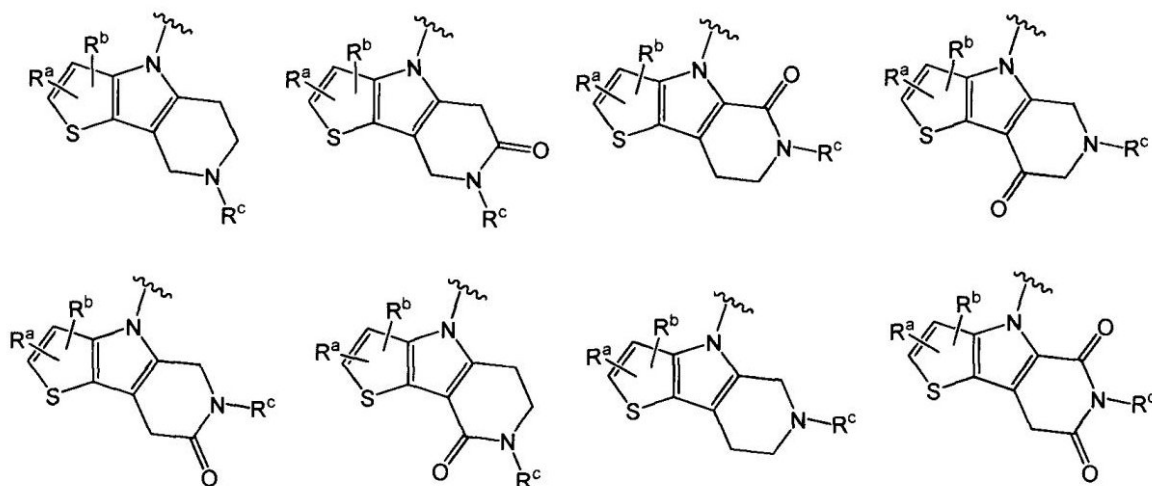
## 【請求項 7】

## 【化 2 3】



は、以下の複素環部分から選ばれる、請求項 2 に記載の化合物。

## 【化 2 4】



( $R^a$ 、 $R^b$  および  $R^c$  の定義は、請求項 1 の通りである。)

## 【請求項 8】

$R^a$  と  $R^b$  は、それぞれ独立に、水素、 $C_1$ - $C_6$ アルキル基、 $C_1$ - $C_6$ シクロアルキル基、 $CF_3$ 、 $SF_5$ 、およびハロゲンから選ばれる、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の化合物。

## 【請求項 9】

- ・N-ヒドロキシ-4-(2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イルチオ)ベンズアミド、
- ・4-(2,7-ジメチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、
- ・4-(2,8-ジメチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、
- ・4-(8-クロロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、
- ・4-(8-フルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、



オ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(7-クロロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イルチオ)  
 -N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(7-フルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イルチ  
 オ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-(2-メチル-7-(トリフルオロメチル)-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1  
 ,6-a]インドール-5-イルチオ)ベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-(2-メチル-8-(トリフルオロメチル)-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1  
 ,6-a]インドール-5-イルチオ)ベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-[(8-メチル-6,7,8,9-テトラヒドロピリド[3',2':4,5]ピロロ[1,2-c]ピ  
 リミジン-5-イル)スルファニル]ベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-6,7,8,9-テトラヒドロピリド[3',2':4,5]ピロロ[1,2-a]ピ  
 ラジン-5-イル)スルファニル]ベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-6-オキソ-6,7,8,9-テトラヒドロピリド[3',2':4,5]ピロロ  
 [1,2-a]ピラジン-5-イル)スルファニル]ベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-(2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-イル  
 チオ)ベンズアミド、  
 ・4-(8-クロロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-イルチオ  
 )-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(8-フルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-イルチ  
 オ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(2,8-ジメチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-イルチオ)-N-  
 ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(6-フルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-イルチ  
 オ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(6-クロロ-8-フルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-  
 10-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(6,8-ジフルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-イ  
 ルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(6,8-ジフルオロ-2-メチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インド  
 ール-10-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(8-クロロ-6-フルオロ-2-メチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]イ  
 ンドール-10-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(8-クロロ-2-メチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10  
 -イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-(8-フルオロ-2-メチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-  
 10-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-(2-メチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インド  
 ール-10-イルチオ)ベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-((2-メチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インド  
 ール-10-イル)メチル)ベンズアミド、  
 ・4-((8-フルオロ-2-メチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インド  
 ール-10-イル)メチル)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-((6,8-ジフルオロ-2-メチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インド  
 ール-10-イル)メチル)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・4-((6,8-ジフルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-  
 イル)メチル)-N-ヒドロキシベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-((2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-イ  
 ル)メチル)ベンズアミド、  
 ・N-ヒドロキシ-4-((2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イル

)メチル)ベンズアミド、

・4-((7-フルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イル)メチル)-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-((7-クロロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イル)メチル)-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-((7-クロロ-9-フルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イル)メチル)-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-((7,9-ジフルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-イル)メチル)-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-(7,9-ジフルオロ-2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-カルボニル)-N-ヒドロキシベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-(2-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミド[1,6-a]インドール-5-カルボニル)ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-6-オキソ-6,7,8,9-テトラヒドロピリド[3',2':4,5]ピロロ[1,2-a]ピラジン-5-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-6,7,8,9-テトラヒドロピリド[3',2':4,5]ピロロ[1,2-a]ピラジン-5-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(8-メチル-6,7,8,9-テトラヒドロピリド[3',2':4,5]ピロロ[1,2-c]ピリミジン-5-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(6-メチル-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-c]ピリミジン-9-イル)メチル]ベンズアミド、

・4-[(2,6-ジメチル-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-c]ピリミジン-9-イル)メチル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-[(2,6-ジメチル-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-c]ピリミジン-9-イル)スルファニル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-[(2,7-ジメチル-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-a]ピラジン-9-イル)スルファニル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-[(2,7-ジメチル-8-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-a]ピラジン-9-イル)スルファニル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-8-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-a]ピラジン-9-イル)スルファニル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-a]ピラジン-9-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-8-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-a]ピラジン-9-イル)メチル]ベンズアミド、

・4-[(2,7-ジメチル-8-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロチエノ[2',3':4,5]ピロロ[1,2-a]ピラジン-9-イル)メチル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-(2,8-ジメチル-1-オキソ-1,2,3,4-テトラヒドロピラジノ[1,2-a]インドール-10-イルチオ)-N-ヒドロキシベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-5,6,7,8-テトラヒドロ-4H-チエノ[2',3':4,5]ピロロ[3,2-c]ピリジン-4-イル)メチル]ベンズアミド、

・4-[(2,7-ジメチル-5,6,7,8-テトラヒドロ-4H-チエノ[2',3':4,5]ピロロ[3,2-c]ピリジン-4-イル)メチル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-[(2,7-ジメチル-6-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロ-4H-チエノ[2',3':4,5]ピロロ[3,2-c]ピリジン-4-イル)メチル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-[(2,7-ジメチル-8-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロ-4H-チエノ[2',3':4,5]ピロロ[3,2-c]ピリジン-4-イル)メチル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(6-メチル-5-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロ-9H-ピリド[3',4':4,5]ピロロ[2,3-b]ピリジン-9-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(6-メチル-5,6,7,8-テトラヒドロ-9H-ピリド[3',4':4,5]ピロロ[2,3-

b) ピリジン-9-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(6-メチル-7-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロ-9H-ピリド[3',4':4,5]ピロロ[2,3-b]ピリジン-9-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-5,6,7,8-テトラヒドロ-9H-ピリド[4',3':4,5]ピロロ[2,3-b]ピリジン-9-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(7-メチル-6-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロ-9H-ピリド[4',3':4,5]ピロロ[2,3-b]ピリジン-9-イル)メチル]ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-[(6-メチル-7-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロ-4H-チエノ[2',3':4,5]ピロロ[2,3-c]ピリジン-4-イル)メチル]ベンズアミド、

・4-[(2,6-ジメチル-7-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロ-4H-チエノ[2',3':4,5]ピロロ[2,3-c]ピリジン-4-イル)メチル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-[(2,6-ジメチル-5,6,7,8-テトラヒドロ-4H-チエノ[2',3':4,5]ピロロ[2,3-c]ピリジン-4-イル)メチル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・4-[(2,6-ジメチル-5-オキソ-5,6,7,8-テトラヒドロ-4H-チエノ[2',3':4,5]ピロロ[2,3-c]ピリジン-4-イル)メチル]-N-ヒドロキシベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-((2-メチル-3-オキソ-3,4-ジヒドロ-1H-ピリド[3,4-b]インドール-9(2H)-イル)メチル)ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-((2-メチル-1-オキソ-3,4-ジヒドロ-1H-ピリド[3,4-b]インドール-9(2H)-イル)メチル)ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-((2-メチル-3-オキソ-3,4-ジヒドロ-1H-ピリド[4,3-b]インドール-5(2H)-イル)メチル)ベンズアミド、

・N-ヒドロキシ-4-((2-メチル-1,3-ジオキソ-3,4-ジヒドロ-1H-ピリド[4,3-b]インドール-5(2H)-イル)メチル)ベンズアミド、および

・N-ヒドロキシ-4-((2-メチル-1-オキソ-3,4-ジヒドロ-1H-ピリド[4,3-b]インドール-5(2H)-イル)メチル)ベンズアミド、

から選ばれる、請求項 2 に記載の化合物。

#### 【請求項 10】

請求項 1～9 のいずれか一項に記載の化合物、および細胞毒性薬、抗有糸分裂薬、抗代謝薬、プロテアソーム阻害薬、モノクローナル抗体、キナーゼ阻害薬から選ばれる第二抗癌剤の組み合わせと、薬学的に許容される担体とを含む医薬品組成物。

#### 【請求項 11】

請求項 1～9 のいずれか一項に記載の化合物と、薬学的に許容される担体とを含む医薬品組成物。

#### 【請求項 12】

疾患または症状を治療する医薬品の製造における請求項 1～9 のいずれか一項に記載の化合物、または請求項 10 または 11 に記載の組成物の使用。

#### 【請求項 13】

疾患または症状は、癌、神経系疾患、神経変性障害、脳卒中、外傷性脳損傷、炎症、自己免疫疾患または寄生虫感染である、請求項 12 に記載の使用。